

せせら通信

だい 第17号

2017年は、
カスリーン台風から70年



渡良瀬グリーンプラザ
(3階:わたらせ 川のふれあい館「せせら」)

じゅせいらん はいふ
サケの受精卵を配布します！ 12月3日(日)

たまご そだ ちぎよ わたらせ いっせい ほうりゅう
サケを卵から育ててみませんか。育てた稚魚は、渡良瀬川で一斉に放流しましょう。
はいふ かず かぎ じぜん もう こ ひつよう といあわ
配布する数には限りがあるので、事前のお申し込みが必要です。お問合せはせせらまで。



ぼくたち、わたしたちの 学校じまん

桐生市立桜木小学校 編



桜木小学校は昭和 32 年に開校し、60 年の歴史のある小学校です。平成 2 年度から 2 年間かけて大改修をおこない、施設・設備の充実した新しい校舎になりました。学校の東がわには渡良瀬川が流れ、校舎から赤城山をはじめ美しい山々が望めます。



桜木小学校校舎

大小 2 つのプールがあり、今年は、市内で一番早くプール開きをしました。プールのできる前は、渡良瀬川で泳いだそうです。(50 年以上前です。) 今は、桜木小は渡良瀬川より高い場所にあります。大昔は桜木小のある場所を渡良瀬川が流れていたこともあったと考えられています。また、子どもたちがお風呂さんとよぶ、校庭のわきにある白瀧神社から湧きだす水は、赤城山や足尾の山にふった水が地下水として流れてきたものだと考えられています。

群馬県では、富岡製糸場が世界遺産になって、絹糸の生産に興味をもってもらおうと「絹文化継承プロジェクト」をはじめました。桐生市は絹織物産業が盛んだったので、桜木小も参加しています。プロジェクトの内容は、蚕の幼虫を育てて繭をつくらせ、その繭から絹糸をとって学校の旗をつくるというものです。子どもたちが参加するのは、幼虫を育てて繭をつくらせるところまでです。蚕を飼うのは 3 年生です。はじめはこわがっていた子どもたちも、だんだん慣れて、手にのせて笑うようになります。できた繭を県に送ると、冬には絹でできた旗になってかえってきます。3 年生は蚕の飼育のほかにも織物体験や藍染の体験もします。



蚕のつくった繭（上）と絹の校旗（下）



七夕集会

桜木小では織姫にちなんで 7 月の「七夕集会」にも力をいれています。代表委員会の子どもたちが、七夕の歌をうたったり、音読劇をしたり、各クラスからの願いごとの発表など楽しい集会がおこなわれます。

桜木小の「たてわり班」活動では、掃除も主な活動にくみこんでいます。掃除にしっかりと取り組むことで、子どもたちにも責任感や自立心がやしなわれているようです。

地域の伝統産業にふれつつ、自然ゆたかな学習環境と笑顔あふれる学校が、桜木小学校の自慢です。

困った

ガイライシユ



誰だれでも死ぬわけじゃないよ、アレルギーとか体質の合わない人の場合、死ぬこともあるらしいね。

あつーまた「ヒアリ」が見つかったって！
関西や東京でも見つかったんでしょ。毒を持っていて、刺されると死んじゃうんでしょ。

植物？そつか！
植物の種は、洋服にくっつきやすいもんね！
あ？

ヒアリも、外来生物？
アライグマとかブラックバスとかと同じ？
ヒアリとアライグマはちょっと違うね。ペットは人間が持ち込んだものだけど、ヒアリなんかは、外国からの荷物に紛れ込んだり、くっついていたりして、知らない間に入ってきてしまったんだ。虫や植物は、そうして入ってくる場合が多いね。

渡良瀬川の堤防に咲いている黄色い花、あれは外来種のセイヨウカラシナなんだ！
からしを作るために輸入したものが野生化して、あんなに増えてしまって、困っているんだよ。
あんなにきれいなのに？
食べてもおいしいんですよ。

国土交通省では、堤防に有害な植物が増えないように、植物が種を付ける前に草刈りをしたり、土を入れ替えたりする対策を、試験的に行っているそうです。

でもね、根が大根みたいに太くなって、その根が枯れると、堤防の中に空洞を作るんだ。そうすると堤防の土がやわらかくなって、モグラが寄ってきたり、キツネが巣穴を作ったりして、ますます堤防を弱くしてしまうんだよ。

渡良瀬川でも見られる、外国から入ってきた植物



大根のような根

セイヨウカラシナ（中央アジア原産）

太く育った根が枯れると、土の中に穴ができて堤防を弱くする。



オオタクサ（北アメリカ原産）

大きく育つため、他の植物に日があたらず育ちにくくする。要注意外来生物。



ハリエンジュ（北アメリカ原産）

他の植物を育ちにくくする物質を生み出す上に、生命力が強く、川の流れを邪魔するほど増えたりする。

子育て中の助けになりました！！

せせらを利用して感じたことについて、山辺小学校に通うお子さんのお母さんにお聞きしました。

Q せせらを利用したきっかけは？

日中、子どもと過ごす無料の公共施設として利用しました。
ぬり絵や工作があり小さな子どもでも楽しめ、
あまり出歩けない子育て期間の助けになりました！

Q サケの受精卵配布や 稚魚の放流会はいかがでしたか？

サケの卵を育てている時期は、サケの飼育や観察した内容が
家族の共通の話題になっています。
放流会では、同じ小学校のお友達に遭遇するなどの嬉しい
ハプニングや子ども同士、親同士で飼育についての情報交換
も楽しく、もっと広めたいイベントです。

Q 現在ではどのように 利用していますか？

毎年サケの受精卵配布と稚魚の放流会を
楽しみにしています。
また、せせらでは魚や亀も飼育しているので、
生きものが好きな子どもたちが自由に観察できる
のがとても役立っています。



毎年恒例の稚魚の放流会

ご協力ありがとうございました！

「せせら」では、ご利用いただいた皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。
また、お寄せいただいた内容をせせら通信で掲載が可能な方は、お知らせください。

「せせら」から お知らせ

● せせら企画展「困った河原の仲間たち」

12月1日（金）から、企画展第2弾「困った河原の仲間たち」を開催いたします。
かわいい動物やきれいな植物がなぜ「困った仲間」なのでしょう。せせらで答えをみつけてね！

わたらせ 川のふれあい館「せせら」
(渡良瀬グリーンプラザ3階)
〒326-0046 栃木県足利市岩井町 465-1
TEL&FAX 0284-44-3001

開館時間

4～6月及び9～3月 平日・休日ともに 10:30～16:00
7～8月 平日・休日ともに 9:30～16:45

休館日 毎週月・木曜日（祝日の場合はその翌日）

※7～8月の休館は木曜日のみ

年末年始（12/29～1/3）

入館料 無料 駐車場 あり

※館内は飲食禁止・禁煙です。食事と喫煙は所定の場所でお願います。
※ペットを連れての入館はご遠慮ください。

せせらの地図



最寄り駅 JR両毛線 足利駅より徒歩 20 分
東武伊勢崎線 足利市駅より徒歩 25 分
自動車 東北自動車道 佐野藤岡 IC より 35 分
北関東自動車道 足利 IC より 15 分

「せせら」についての情報はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/index.htm>

発行 国土交通省 渡良瀬川河川事務所 調査課 〒326-0822 栃木県足利市田中町 661-3 TEL.0284-73-5558
平成 29 年 11 月 発行